

枯渇効果（こかつこうか） depletion effect

高分子の拡がり分散している粒子の大きさに比べてあまり小さい場合、粒子が互いに接近すると高分子は粒子の間隙から排除され、高分子が枯渇した領域が存在する。このとき粒子の周りは高分子溶液、粒子間は溶媒のみとなるので、浸透圧が働いて粒子は周りから押されて凝集を引き起こす。これを枯渇効果と言い、生ずる凝集を枯渇凝集と呼ぶ。枯渇効果による凝集は一般に可逆性の弱い凝集で、系の相分離を引き起こす場合がある。

（古澤）